



平成 18 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ  
代表者名 取締役社長 高木 繁雄  
(コード番号 8377 東証第一部・札証)  
問合せ先 企画グループ長 庵 栄伸  
(TEL (076) 423-7331)

### 取引先からの「私的整理に関するガイドライン」に基づく再建支援の申し出について

当社子会社の株式会社北陸銀行（頭取 高木 繁雄）は、取引先である金井漁業株式会社、及びその関係会社である朝日漁業株式会社、金井遠洋株式会社から、「私的整理に関するガイドライン」に基づく再建支援の申し出を受けました。

北陸銀行では、今後再建計画の成立に向けて支援していく方針であり、本日、同社グループと連名にて対象債権者に対し「一時停止」の通知を発しましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、対象となる債権者は金融機関に限定されております。

#### 記

##### 1. 当該取引先の概要

名 称	金井漁業株式会社	朝日漁業株式会社	金井遠洋株式会社
所 在 地	北海道釧路市 入舟 6 丁目 3-25	北海道釧路市星が浦 大通 3 丁目 5-2	北海道釧路市 新富士町 5 丁目 2-9
代表者の氏名	金井 俊一	金井 俊一	金井 俊一
資 本 の 額	40 百万円	10 百万円	10 百万円
事 業 内 容	漁業	漁業	漁業

##### 2. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

	金井漁業株式会社	朝日漁業株式会社	金井遠洋株式会社
債 権 の 種 類	貸出金	貸出金	貸出金
金 額	127 億円	3 億円	5 億円

##### 3. 金融支援の内容

今後、「私的整理に関するガイドライン」に基づき対象債権者との協議により金融支援の内容が決定されます。

再建計画（案）では、会社分割により不良部分を切り離して新会社に事業を引き継ぐスキームであります。現時点における北陸銀行の損失見込み額は下記の通りであり、当該金額相当は既に引当済です。

金井漁業	112 億円
朝日漁業	3 億円
金井遠洋	5 億円

#### 4. 北陸銀行が金融支援を行う理由

地場産業の育成支援は地域金融機関の使命であり、漁獲量の減少により当該取引先グループの業績が悪化する中、北陸銀行では、これまでも同社グループの経営改善に向けた様々な取り組みに対し、親身な相談等に応じてまいりました。

同社グループのこうした自助努力により、安定的な水揚げ高とキャッシュフローを上げられる状況になりましたが、過去の設備投資に起因する過剰債務を返済する目処が立たない状況にあります。

北陸銀行としては、再建計画の実施により同社グループの再建を図ることが地域経済にとって最善の方法であり、経済合理性も確保できると考えており、以下の理由に基づき、同計画の成立に向け支援していく方針としているものです。

- (1) 漁業は特に釧路地域においては主要産業の1つとなっておりますが、同社グループは、国内有数の漁獲能力を有する企業であり、かつ、漁業業界の中核的存在であるため、同社グループ破綻による地域経済の衰退、取引業者等への連鎖、雇用面等への重大な悪影響を回避する必要があること。
- (2) 「私的整理に関するガイドライン」に基づく手続きであり、また、平成17年度から水産庁の補助事業としてスタートした中小漁業経営支援事業のスキームを活用し今年1月に設立された北海道機船漁業経営支援協議会の支援も受ける予定であり、公平性、透明性が確保でき、計画の実現可能性が高いこと。
- (3) 同計画（案）は、経営者責任の明確化を図り、株主が最大限の責任を果たす内容であること。

#### 5. 本件が当社の業績に与える影響

北陸銀行は損失見込み額相当を引当済であり、既に発表しております平成19年3月期の北陸銀行の業績予想及び当社の連結業績予想に変更はございません。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

北陸銀行 融資第二部 札幌管理室

担当者：鈴木、三家（TEL：011-241-7140）